

製品名: Apaf-1-ALT ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06989**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	27kDa

抗原情報

遺伝子名	APAF1
別名	APAF1-interacting protein; APIP; APIP2; CGI-29 protein; MMRP19; dJ179L10.2; likely ortholog of mouse monocyte macrophage 19
遺伝子 ID	317.0
SwissProt ID	O14727-6
免疫原	抗血清はヒト APAF-1-ALT 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 289-338

背景

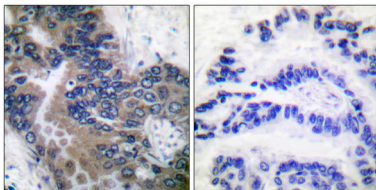
この遺伝子は、アポトーシスを誘導する細胞質タンパク質をコードしています。このタンパク質は、WD-40 ドメイン、カスパーゼリ

クルートメントドメイン (CARD)、および ATPase ドメイン (NB-ARC) の複数のコピーを含んでいます。シトクロム c と dATP に結合すると、このタンパク質はオリゴマーアポトーソームを形成します。アポトーソームはカスパーゼ 9 プレプロタンパク質に結合して切断し、成熟した活性化型を放出します。活性化されたカスパーゼ 9 は、細胞をアポトーシスへと誘導するカスパーゼカスケードを刺激します。選択的スプライシングにより、異なるアイソフォームをコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],domain: CARD ドメインは APIP との相互作用を媒介します。function: オリゴマー Apaf-1 は、シトクロム c 依存性のプロカスパーゼ 9 (Apaf-3) の自己触媒的活性化を媒介し、カスパーゼ 3 の活性化とアポトーシスを引き起こします。この活性化には ATP が必要です。アイソフォーム 6 はアポトーシスを誘導する効果が低くなります。誘導: アポトーシスを起こすニューロンにおいて E2F および p53 によって誘導されます。類似性: 1 つの CARD ドメインを含みます。類似性: 1 つの NB-ARC ドメインを含みます。類似性: 13 個の WD リピートを含みます。サブユニット: モノマー。シトクロム c と dATP が結合するとオリゴマーを形成します。オリゴマーの Apaf-1 とプロカスパーゼ 9 は、それぞれの NH2 末端 CARD ドメインを介して互いに結合し、続いて成熟したカスパーゼ 9 が複合体から放出されます。プロカスパーゼ 3 は、プロカスパーゼ 9 との相互作用を介して Apaf-1-プロカスパーゼ 9 複合体にリクルートされます。APIP と相互作用します。組織特異性: 普遍的。アイソフォーム 1 は心臓、腎臓、肝臓で発現します。

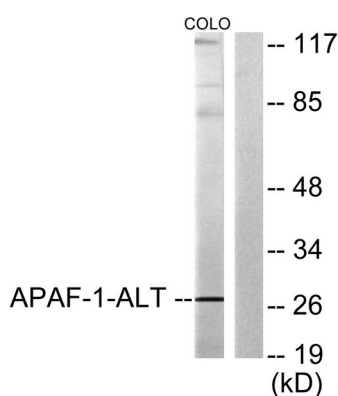
研究分野

-

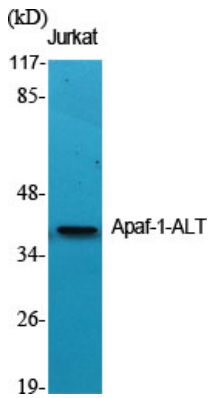
画像データ



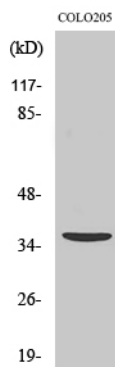
APAF-1-ALT 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



COLO205 細胞ライセートの APAF-1-ALT 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



Apaf-1-ALT ポリクローナル抗体を 1: 500 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。



COLO205 細胞の Apaf-1-ALT ポリクローナル抗体 (1: 500 希釈) を用いたウェスタンブロット解析